

会 長 あ い さ つ

会 長 久 保 芳 信

中央委員の皆さん、こんにちは。

日本介護クラフトユニオン第18回中央委員会にご参集いただきまして、ありがとうございます。また、日頃は総支部活動や分会活動などそれぞれの立場でNCCUの諸活動を支えていただいていることにも重ねて感謝申し上げます。

年が明けて1月中頃から、過去最強レベルの寒波のため各地で豪雪となり、北陸地方をはじめとする各地の被害が報告されています。移動手段の制約などで、介護現場でのご苦勞も多いと心配しています。また、インフルエンザの流行は例年より猛威を振るっており、患者数が急増していることも報道されています。手洗い、マスクやうがいなど、予防には十二分に気をつけて健康を維持されるようお願いします。

昨年は豪雨などで大規模な被害がありましたが、今年こそ自然災害が少なく、被害が無いことを祈るばかりです。

それでは、第18回中央委員会開会にあたりご挨拶を申し上げます。

さて今期中間迄を振り返り、主だったところを3点述べたいと思います。

まず1点目は、「組織の拡大と強化」についてです。現在、「仲間づくり10万人体制の達成」に向けて組織部門を中心に精力的な仲間づくりを進めています。

「数は力なり」と言うように、NCCUに集う仲間を増やすことは、国や行政、経営者などに対して発言力を持つこととなります。今後も「仲間づくり10万人体制の達成」を目指す活動を引き続き進めていきたいと考えています。

組織強化の要となるのは、まず総支部の強化です。地域に根差す取り組みとして、支部委員会の充実と強化に向けた取り組みを行っています。これからは、組織拡大に伴い総支部活動の充実が求められていることから、総支部を支援するための本部体制のあり方も検討していきます。

このような活動の基本は、NCCUが組合員の皆さんにとって必要な存在となることです。組合員一人ひとりにとって働きやすい職場環境を実現すべく、総支部と本部がより一層の連携を図りながら進めているところです。

2点目は、私達の賃金をはじめとする労働条件を左右する介護保険法の改正や介護報酬の改定に向けた取り組みです。

昨年8月には、介護報酬の引き上げをはじめ6項目を求める「要請書」を加藤勝信厚生労働大臣に直接手渡しました。またこの「要請書」を後押しするために署名活動を展開し、厚労大臣あての署名30万1,213筆も提出しました。加藤大臣からは「しっかりと取り組んでいく」というコメントをいただきました。今回の署名活動の特徴は、私達の上部団体U Aゼンセンの中間の組合員からも多くのご協力を得られたことです。その意味するところは、ご利用者に近い側の方々からもご理解とご協力を得たことと推察しています。

このような活動の結果、介護報酬改定はプラス0.54%となったものの、基本報酬部分が下がったため、加算を取得しなければ厳しい改定となり経営を維持できません。従って、賃金をはじめとする労働条件の引き上げに向けては、しっかり労使で協議しなければなりません。

一方、介護保険法の改正では、「生活援助サービスの新研修創設」「居宅介護支援事業所の管理者要件を主任ケアマネとすること」「通所介護の1時間単位の設定」などなど、また新たな課題があるように散見されます。

NCCUでは、今回の介護保険法の改正や介護報酬の改定について組合員の皆さんの意見を傾聴し、次の法改正を待たず、改善に向けた取り組みを開始しなければならないと考えています。

年が明けて早いもので2月も半ばとなり、賃上げ交渉の時期が来ました。

昨年12月厚生労働省発表の有効求人倍率は、全産業平均は1.59倍ですが、介護サービスでは4.31倍となっています。また、東京商工リサーチの発表では、2017年1年間の介護事業者の倒産は111件に上ぼり、過去最多であった一昨年(2016年)の108件を更新しました。倒産原因は、人手不足による賃金の高騰などで小規模業者を中心に経営が厳しくなっていることと分析しています。社会的には昨年頃より景気回復が見受けられますが、その一方で、景気が良くなると介護職の求職者が少なくなることは以前から言われていることです。他産業より低い処遇でしか採用できないことが人材不足に拍車をかけています。

このような状況での今年の賃上げ交渉は、介護保険法の改正と介護報酬の改定を経た環境での交渉でもあります。介護職員処遇改善加算があるものの、人材不足という観点からも全産業平均に少しでも近づけなければならない交渉です。

介護従事者が現在の職場で長く働き続けられるよう、賃金をはじめとする労働条件の向上が急務であり、その結果が人材確保につながると考えます。今回の賃上げ交渉は、人材確保のための闘いでもあると位置づけられます。NCCU全体の統一要求である格差是正の意味を理解し、NCCU一丸となって闘っていきましょう。

3点目として政治活動に触れたいと思います。

介護従事者の労働環境に直結する介護保険制度をはじめ、日々の暮らしや人生設計に関わる社会保障制度や税制は、政治と深く結びついています。

現在、私達の代表として国会で活躍していただいているのは、参議院の川合孝典参議院議員、一人だけです。そこで、来年の参議院議員選挙にU Aゼンセンの組織内候補予定者として『田村まみ』氏を擁立することが決定しました。NCCUも田村まみさんを支援するにあたり、先月、介護従事者の処遇改善に取り組むことなどを盛り込んだ政策協定を結びました。私たちの代弁者として国会に送り出さなければなりません。組合員のみなさまのご協力をお願いいたします。

最後に、NCCU運動の基本は現場活動です。本部、総支部、分会の活動が組合員の皆さん一人ひとりにとって必要不可欠なものとなるよう、これからも活動を展開していくことをお約束して、中央委員会冒頭の挨拶とします。

組合員の幸せのため、共に頑張っていきましょう。

以上